

こども達と着付けで交流  
福11-文 増金スミ子

花谷小学校での、子どもの着付け講師依頼を受けた時は、「どうしたものかー」とも思ったものですが、襷作りから始めて、小物類、着物の用意、また、着付けの説明用の小冊子の作成と、小学校での、2日間の授業を考えながら準備を進めている過程でも、自分自身が一番楽しんでいるような気がいたしました。

いよいよ本番を迎え、初めての体験に緊張気味の私に、子ども達が若さと明るさのエネルギーを以って、後押ししてくれながらの着付けの授業でした。着方については、準備した冊子を基に説明し、各自着物を着て貰い、半巾帯で蝶結びの練習をして貰いました。



初めて帯を結ぶ体験

二日間で男子8名を含む計32名の子ども達が着物をきて、「自分達の姿を先生に見て貰ってもいいですか？」満面の笑みを浮かべて、教室を出ていきました。数分後に帰って来たときには、殆どの子供の着物姿は襟、裾がはだけたものになっていました。活発な行動には、不向きなところもある着物ですが、着てみるとそれなりに、「しとやかにしようー。」というような気になる利点もあります。これを機に、日本の民族衣装でもあるので着物を受け継いで、年一、二回位は、着て欲しいものだと思います。私にとって二日間は、新鮮であり、新しい体験でした。

感動と感激に感謝させて貰いひと時でした。  
ありがとうございました。

『銭太鼓』実技指導に参加  
国9-文 松矢征男

花谷小学校6年生の体験学習「ふれあおう！日本の心」で私達、楽遊クラブ銀雅も他のクラブの皆さんと共に参加しました。

2日間にわたり午前中の授業で一日目が15名、二日目が16名計31名の皆さんに伝統民俗芸能である銭太鼓の指導をしました。

参加した子ども達は、それぞれ事前に銭太鼓の歴史などをインターネットで調べてきており、解説もそこそこに実技指導に入りました。私達は他で児童を対象に演技指導してわかってはいたのですが、わずか1時間半の指導で2曲のえんぎをマスターしたのは驚きと喜びで感激し、子ども達の無限の可能性をうらやましくおもったと思います。私達も負けず今後とも施設訪問活動や各種のイベントに参加することで広くこの民俗芸能を伝えていこうと思います。今回の行事に参加させていただきましたこと学校関係者の皆様方また“わ”の学習支援の方々へ厚くお礼を申し上げます。



銭太鼓を握って四苦八苦

なおこの講座には、書道、生け花、詩吟の3講座もありました。



書道教室

# 灘 区 会

『わ 灘区会だより』  
灘区会長(国8) 福田望

“わ”の会員の皆さま、わ灘区会員の皆さま、明けましておめでとうございます。年が増える正月に何も目出度い事などないんですが、それでも昔から盆と正月とって一年の節目を越える感懐を覚えるものです。

さて、灘区会員も年々増加して只今55名(男35、女20)元気で活動を展開中です。

平成20年のシルバーカレッジ卒業生第12回生をグループわに入って貰うキャンペーンを1月15日ふれあいホールで本部、各5部と9区の世話役が机を並べて入会勧誘を実施。ところが仕掛けが悪いのか、まきえさがなかったせいか(三宮駅のようにティッシュを配るとか・・・)網を張ったけど一向に在校生が寄ってこない、時機が早すぎたのか不調だった。まだ充分時間があります。あの手この手で入会活動を展開しますので、この記事を読まれた方は是非未入会の方に肩たたきをお願いします。

会員みんなで、ワーワーと楽しいシルバー余生をともに送りませんか？



生け花(剣山ってなに?)



詩吟に音符?

